

薬学演習

総合科目 4年/後期 4単位 必修科目

科目責任者 教務委員長

■ 教育目的

4年次までに学んだ専門科目について復習し、統合された知識として修得する。

■ 学習到達目標

薬学教育モデル・コアカリキュラムの共用試験に係わる項目について、演習講義およびコンピュータ演習により総合的に復習し、知識を整理しながら理解を深める。

■ 準備学習（予習・復習）

予習：4年次までに学んだ内容の、整理・統合を心掛ける。

復習：授業での疑問点は放置しないで積極的に質問し、解決する。確認テストで誤った箇所は、直ちに復習し理解する。テキストにある問題を解いて、知識を確かなものとする。授業の内容は収録して視聴可能にするので、活用して下さい。

■ 授業内容

薬学教育モデル・コアカリキュラムの共用試験に係わる項目は多岐に渡るが、特に重要と思われる項目、間違いやすい内容・理解しにくい内容を含む項目を中心に講義を行う。なお、授業の内容は各種試験の結果などを分析し、一部変更する場合がある。

No.	項目	授業内容	SBOコード
1	物理	物理化学：分子間相互作用、熱力学、相平衡、溶液の化学、反応速度/分析化学：酸と塩基、分光分析法、核磁気共鳴スペクトル、他	C1 (1)~(4) C2 (1)~(2) C3 (1)
2	化学	化学結合、立体構造、基本的化学反応（アルケン、芳香族、有機ハロゲン化物、アルデヒド・ケトン・カルボン酸）、他	C4 (1)~(3)
3	生物	生体成分（糖、脂質、アミノ酸）の代謝、遺伝子、遺伝子工学、他	C9 (1)~(6)
4	衛生	食品の品質と管理、食中毒、化学物質の代謝、化学物質による発がん、水・大気環境、感染症、他	C11 (1) C12 (1)~(2)
5	薬理	中枢神経系・循環器系・血液系に作用する薬、ホルモンと薬、悪性腫瘍と薬、他	C13 (2)~(3)
6	薬剤	薬物の体内動態（吸収、分布、代謝、排泄）、製剤材料の性質（物質の溶解、分散系、粉体）、他	C13 (4)~(5) C16 (1)~(3)
7	病態・薬物治療	神経・筋疾患、精神疾患、感染症、悪性腫瘍の病態と治療、他	C14 (1)~(5)
8	実務	処方せんと調剤（監査、医薬品の用法・用量）、医薬品の供給と管理（血液製剤、消毒剤）、服薬指導、他	

■ 成績評価方法

講義への出席、小テスト等の成績によって、総合的に評価する。